

生きる・くらす 鳥とひと 展

(1) 趣 旨

わたしたちの身近にいる野鳥は、いろいろな場所で会うことのできる動物のひとつですが、野鳥は、人の暮らしや気候、環境の変化に左右されることがしばしばあります。今回の展覧会では、環境の変化に対応しながら生きる野鳥たちの生活史などを紹介しました。また、市内小学生や一般市民の協力を得て、美濃加茂市内で見られるツバメの調査を行いました。この調査結果や野鳥の観察記録をもとに私たちを取り巻く生活環境を考えてみました。

(2) 会 期 2006(平成 18)年 7 月 1 日(土)～9 月 3 日(日)<54 日間>

(3) 観 覧 料 一般 200 円(100 円)、高校生以下無料
()は 20 名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室

(5) 関連事業

①「自然観察会—ツバメの巣の観察会—」

ツバメの巣の観察によって、この地域の環境について、知ることができました。

《2006(平成 18)年 7 月 2 日(日)、8 月 6 日(日)13:30～15:30／会場：市内周辺／参加料：無料》

②ミュージアムフォーラム「みのかもにすむ身近な鳥たち」

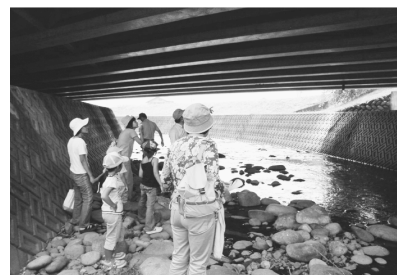
講師の大塚之稔氏は、岐阜県内を中心に野鳥の保護活動を行ってこられました。美濃加茂やこの周辺に生息する野鳥について、長年観察されてきた経験を踏まえ、野鳥に関するおもしろいお話や、意外な行動などをお話してもらいました。受講者のみなさんは身近な野鳥を通して私たちの環境や暮らしも再発見できる内容でした。

《2006(平成 18)年 8 月 19 日(土)13:30～14:30／会場：研修室／参加料：無料／講師：大塚之稔氏(日本野鳥の会岐阜県支部支部長)》

③アートな一日講座「鳥のブローチづくり」

鳥の描き方や特徴を聞きながら作り方を学びました。鳥を見ながら形を整えたり、色をみたりしながら作業を進めました。

《2006(平成 18)年 8 月 27 日(日)13:00～16:00／会場：エントランス／参加料：300 円／講師：細江由美子》



④ミュージアムトーク　生きる・くらす　鳥とひと　展　展示解説

はく製を見ながら、鳥の大きさや羽の色をじっくり観察することができました。鳥に関する解説をじっくり聞いて頂けました。

《2006(平成18)年7月15日(土)、8月12日(土)11:00～12:00・14:00～15:00／会場：企画展示室・美術工芸展示室／参加料：企画展観覧料》

⑤冊子

ふるさとファイルNO.13「みのかもの野鳥」　A5判　14頁　200円